



令和九年

御鎮座
400年

～新たな百年へ～

奉賛金趣意書

富岡八幡宮

<http://www.tomiokahachimangu.or.jp>

氏子崇敬者各位

富岡八幡宮御鎮座四百年

記念事業について

寛永四年（一六二七）当時永代島と呼ばれていた当地に、富岡八幡宮が御鎮座になってよりこのかた、来る令和九年（二〇二七）には四百年の記念すべき年を迎えます。

この間、氏子崇敬者の皆様の誠意あふれるご奉賛により御神威は益々輝かしく、ことに祭礼は深川八幡祭りと呼ばれて氏子の心意気高く、時代ごとに盛んに執行され、江戸三大祭りの華と称えられて今に至っております。

そうした中であって、この地域はたびたび地震、大火、戦禍という苦難に遭遇しました。当神社の御社殿も、何度も大きな被害を受けましたが、それぞれの時代の人々に支えられて、御社殿の復興、修復をなすとげてまいりました。

現在の御社殿は、先の大戦により焼失したものを、昭和三十一年（一九五六）に、鉄筋コンクリートによる重層式八幡造りという、新様式の御社殿として再建されたものです。しかし、その華麗な御社殿も建築後六十有余年を経て、現在お屋根や内外装の傷みも激しく、雨漏りも生じている有様です。また、耐震補強も行われておらず、予想される首都直下型地震・南海トラフ地震の被害が心配されます。

そこで富岡八幡宮では御鎮座四百年を迎えるにあたり、御社殿の耐震補強・お屋根の葺き替え・内外装の新装等の大修理を施し、御祭神には装いも新たになった御社殿にお遷りいただき、御神威を新たに仰ぎつつ記念大祭を執り行い、このよき年を祝いたいと存じます。（これを含め下記の記事を計画しております。）

富岡八幡宮が、次の百年さらに祭祀の厳修を図り、深川・新川・箱崎地区の氏神社として、また東京の大神の一つとしての大きな役割を果たしていけるよう、氏子崇敬者の皆様のご理解とご奉賛を切にお願い申し上げます。

計画事業

一、御社殿大修理

御社殿の耐震補強・お屋根の葺き替え・内外装工事等を行います。

二、客殿の新築

御本殿修理中は仮本殿として使用し、その後は参拝者控室・直会場等として使用します。

三、境内末社等改修及び境内整備事業

四、御鎮座四百年記念大祭

令和九年八月に皆様と共に執り行い、御本社一の宮神輿渡御を行います。

五、社務所移転新築

新社務所を境内西側に建築。現社務所は解体し、御本社から弁天池にかけて広々とした戦前の境内を取り戻します。（この事業は令和九年以降の実施となります）



富岡八幡宮 御鎮座四百年記念事業 奉賛金申込書

記念事業の趣意に賛同し、下記の通り奉賛いたします。

個人名 又は 会社・団体名		ふりがな	
会社・団体の 場合	代表者 役職・氏名	ふりがな	
	ご担当者 氏名		
所在地		〒 □□□□ - □□□□	
電話番号	TEL	FAX	
奉賛金額	□ / 金 円也		
奉賛者芳名を境内掲示し、 印刷物等で公表することについて		<input type="checkbox"/> 了承する	<input type="checkbox"/> 了承しない

ご記入頂きました情報は当社からのご案内や御礼文等の発送以外には使用しません

事務局取扱欄			
受付番号		<input type="checkbox"/> 未入金	<input type="checkbox"/> 入金済
記入日	年	月	日 扱者

奉賛金額

◆ 一口金五千円

御奉賛頂いた全ての方の御芳名を台帳に記載し御神前に奉告いたします。



奉納いただいた方には今回やむをえず伐採した境内樹木で奉製した記念品をさしあげます



江戸最大の八幡様

富岡八幡宮

〒135-0047 東京都江東区富岡 1丁目20番地3号

☎ 03-3642-1315

🏠 03-3642-5580

申し込み方法

◆ 氏子各町にて

氏子各町の皆様は各町で行う募金にご応募ください
(氏子区域についてはお問合せください)

◆ 直接社務所にて

午前9時～午後5時にご来社下さい

◆ 現金書留

付属の申込用紙にご記入の上、現金と共に左記宛にお送りください

◆ 郵便振替

所定の用紙でお振替ください

銀行振込みをご希望の方はお問合せください

※申込期限 令和9年12月末迄